

# ほし み 星を見よう!

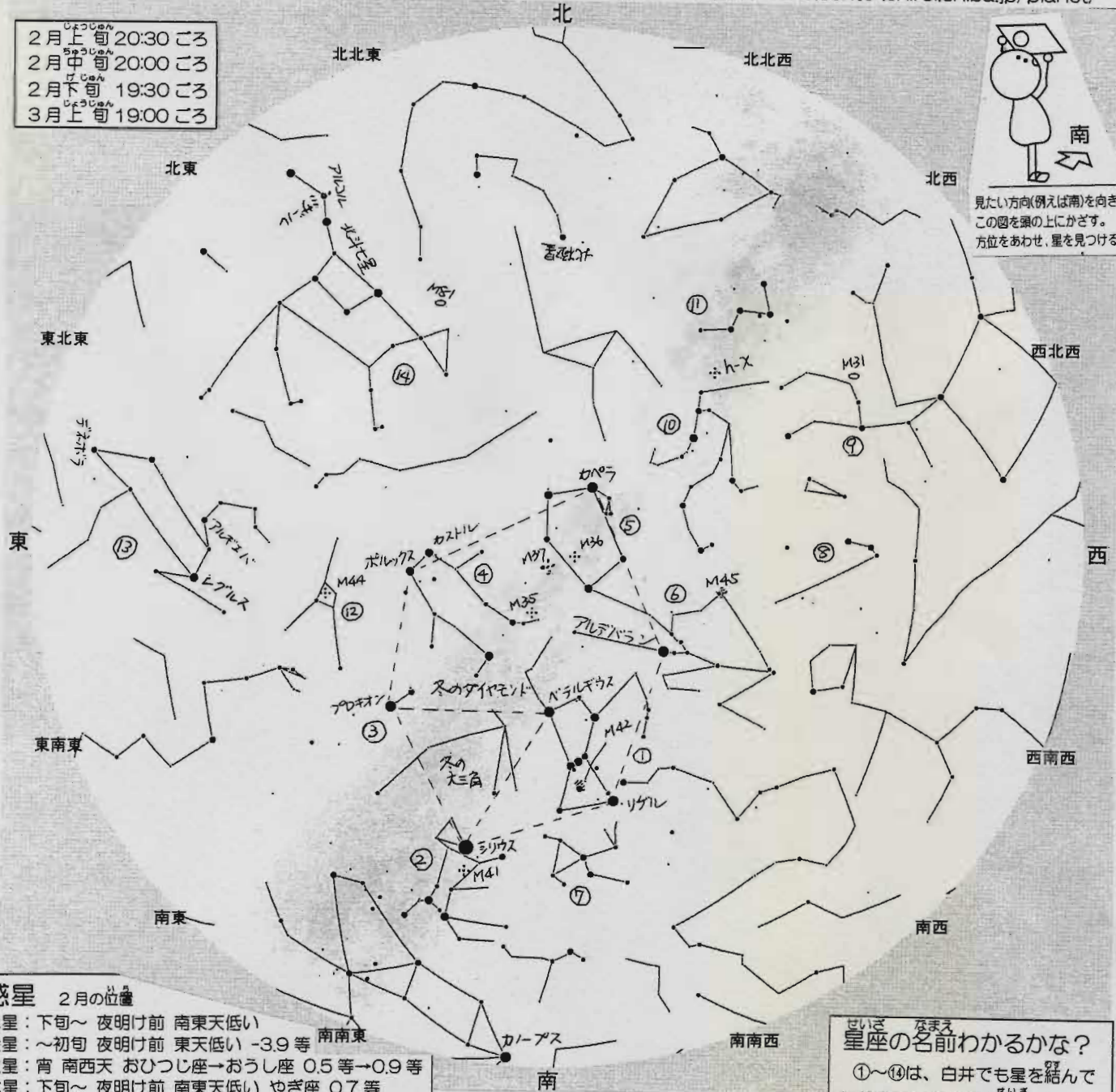
2021年2月号

No.266

2021年2月6日発行

しろいしぶんか  
白井市文化センター・プラネタリウム  
〒270-1422 白井市復1148-8  
TEL047-492-1125 Fax047-492-8016  
e-mail: planet@center.shiroyi.chiba.jp  
URL: <https://www.center.shiroyi.chiba.jp/planet/>

2月上旬 20:30ごろ  
2月中旬 20:00ごろ  
2月下旬 19:30ごろ  
3月上旬 19:00ごろ



見たい方向(例えば南)を向き、この図を頭の上にかざす。方位をあわせ、星を見つける。

## 惑星 2月の位置

水星: 下旬～夜明け前 南東天低い  
金星: ～初旬 夜明け前 東天低い -3.9等 南南東  
火星: 宵 南西天 おひつじ座→おうし座 0.5等→0.9等  
木星: 下旬～夜明け前 南東天低い やぎ座 0.7等  
土星: 下旬～夜明け前 南東天低い やぎ座 -2.0等

## 星座の名前わかるかな?

①～⑭は、白井でも星を結んでたどることができる星座です。夜空を見上げてみましょう。「星を見よう!」2月号の中に星座名のヒントと答えがあります。

## 冬の宝石 すばる(M45)

写真 平野岳史

◆来館時はマスク着用とドーム入場前の手洗いをお願いします

★土曜日・日曜日・祝日※ ※月曜日と重ならない祝日 各約45分間

☆ロイヤルアワー(子ども向け) 11:30 ぼくらのうちゅうりょうこう パート1

☆一般向け授映 15:00 ゆく星くる星 2021年の宇宙天文カレンダー 2/28まで  
宇宙での生活 3/7(日)から

★星を見る会 要予約 対象:小学生以上(小学生は保護者同伴) 小学生未満は受付不可  
2月6日(土)17:30 / 3月13日(土)18:30 各約60分間 2月は定員に達しました  
毎月1日9:00から電話予約開始 (1日が月曜の時は2日、3月は2日)

ドーム内で解説後、実際の空で星座探し+望遠鏡でオリオン大星雲、すばる、プレセペ他を観望します

雨天曇天の場合はドーム内で約45分間の星空解説のみ 大人200円 高校生以下無料

☆プラネタリウムの休館日 毎週月曜日と年末年始 建国記念の日(11)、天皇誕生日(2/23)開館します

2021年は <sup>せつぶん</sup>節分2月2日、<sup>りっしゅん</sup>立春2月3日

2022年は節分2月3日、立春2月4日です

節分は2月3日で、4日が立春と思っている人は多いでしょう。しかし、地球の公転と暦のずれによって、「その日」は一定ではありません。

地球は太陽のまわりを1年かけてまわっていますが、1年=365日ではなく365.2422日。1年で0.2422日(約6時間弱)位置がずれてきます(遅くなる)。それを調整するのが4年に1回入る閏年で、ほぼ元に戻るわけです。

遅れ分の約6時間×4年÷24時間÷1日

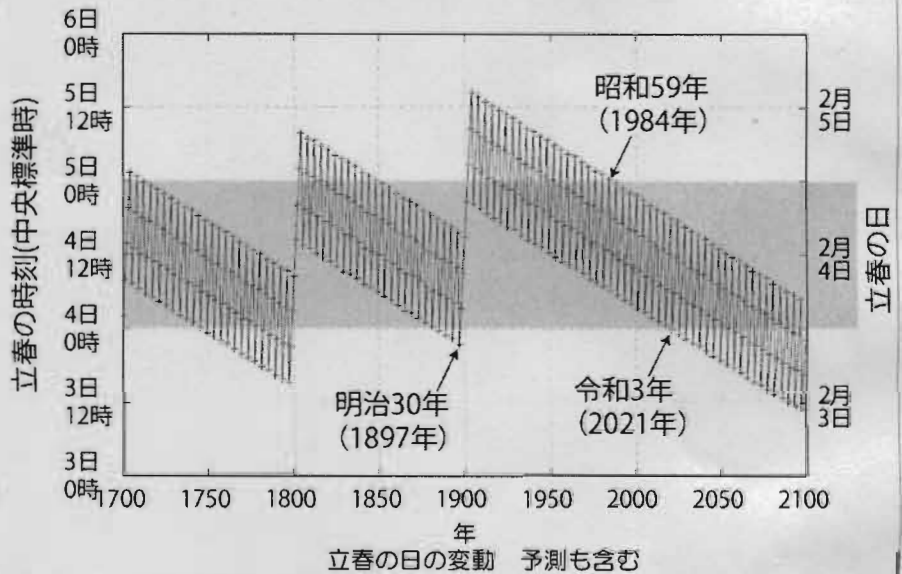
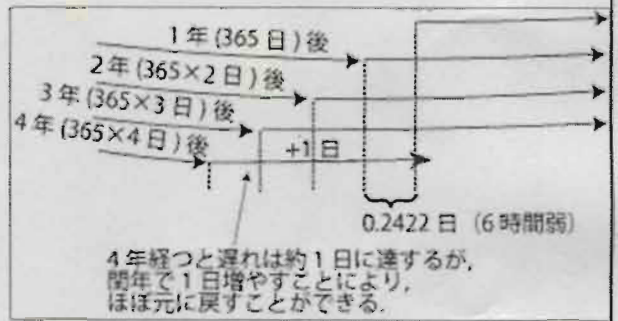
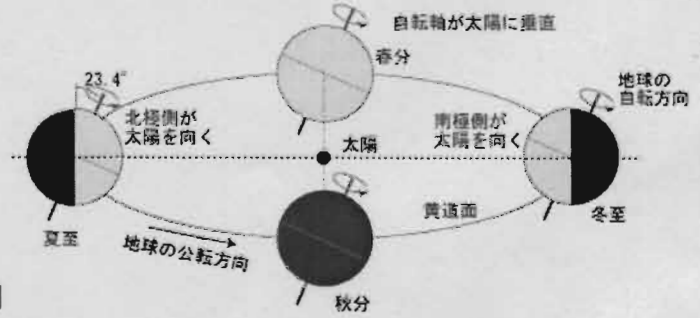
しかし、0.2422日×4年=0.9688日なので、1日-0.9688日=0.0312日(約45分)補正し過ぎることになります。このため、今年のように4年後に約45分早くなり、「立春」が2月3日になり、運動して、節分も2月2日になりました。

過剰な補正は400年で3日になるため、西暦が100で割り切れる年は平年とする、400で割り切れる年は閏年とするなどをして、暦を決めているわけです。

節分が3日、立春が4日でないのは1984年以来37年ぶり、今年のように節分2日、立春3日になるのは1897年以来124年ぶりとのこと。

詳しくは、国立天文台歴史計算室のホームページを参照してください。

図提供 国立天文台 歴史計算室



カノープス、見たことある？

冬の星座の中には1等星が8つあります。うち7個は雲さえなければ、自宅から見ることができ、白井付近ではカノープスは南中しても、地平線(水平線)から約1.6°。空が澄んだ日の宵、南の方向が見渡せる場所でトライしてください。高層階にお住いの皆さんはチャンスがあるかも！



オリオン

だいせいうん 大星雲  
肉眼で見ることが可能な星雲。

写真 平野岳史

3月1日 しろいメール配信サービスがリニューアルします  
それに伴い2/8からメール配信サービスの新規登録などが使用できなくなります。メールは引き続き、配信されます。3/1からの新しいアドレスは、下記です。  
shiroicity@smart-igov.jp